

為替相場(円高円安)



(i) 為替相場と外国為替市場

■ **円高・円安とは** … 世界各国では異なる通貨が使われているが、その交換比率のことを[1]]いう。
1ドルは何円と交換できるのか？というレートが、日々変動している。

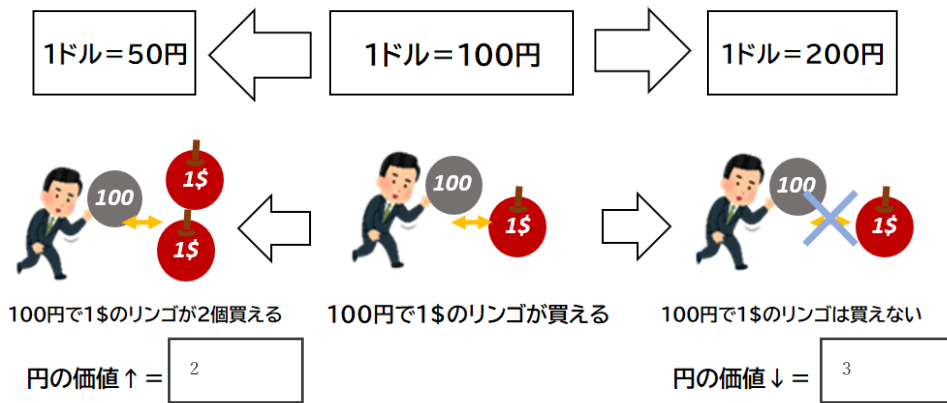
では、なぜ価値が変動するのか？ → それは**需要と供給のバランス**によるもの。

お店の商品と同じと考えるとイメージしやすい。人気が急上昇すると、その商品の価値は上がる。逆に人気が無く売れ残りが発生すると、商品の価値は下がる。

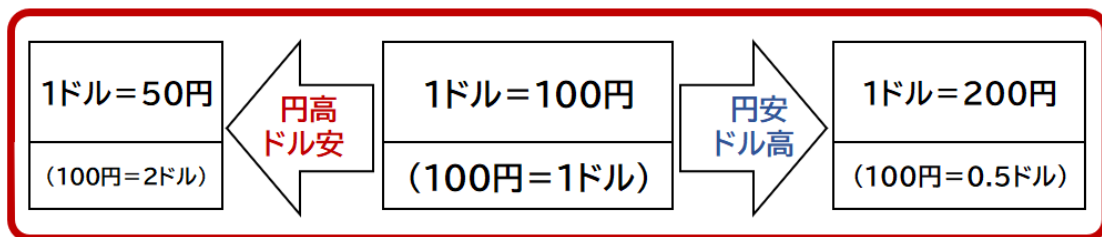
同様に、世界中で「アメリカのお金に交換したい！」という人が増えれば、ドルの価値は上がり(=ドル高)、「日本のお金を手放したい…」という人が増えれば、円の価値は下がる(=円安)

■ 円高・円安問題の基礎

では、大学入試レベルに対応できる知識を付けていく。まず下の図を見て、どちらの矢印が円高？円安？
1ドル100円を基本にして、左右どちらが円高でしょうか。イラストもヒントにして考えてみよう。



ここが基本中の基本。そして問題を解く上でこの関係がすぐ頭に浮かべば、入試レベルも問題でも解ける。



円高・円安問題の攻略図

円高円安の問題が出たときに頭が混乱してしまう人は、この図を暗記して、問題用紙の空いているところに書き込んでもいい。30秒くらい時間が取られるが、問題は非常に解きやすくなる。

(ii) 円高・円安問題の出題パターン

では、どのように出題がなされるか。出題パターンは2つに分けられる。

①円高円安の**要因**を問うもの

例)以下の選択肢より、円高になる要因として正しい選択肢を選びなさい。

②円高円安の**影響**を問うもの

例)円高になった場合、国内への旅行者は増えるか、減るか

■ ①円高円安の「要因」を問う問題

「A ということが発生した」→「円高になる」という流れで、A の事柄を選択肢で選ぶパターンがよく出る。2009年追試のセンター試験より、実際の出題例を紹介する。

問2 変動為替相場制の下で、ある国の為替レートの下落を引き起こす当該国の要因として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① 中央銀行による高金利政策
- ② 経常収支の黒字
- ③ 政府による外国通貨の売却
- ④ 物価水準の上昇

ある国の為替レートの下落という文は、ある国を日本に言い換えれば「円のレートが下がる」＝「円安」となる。この4つの選択肢から「円安」になるものを選べばよい。

では、どのように解けばいいかということについて。円高・円安どちらなのかを考える際には、円の需要が上がったかどうかという視点で考える。市場の需要供給と同じで、世界中で日本円に交換したいという人が増えれば、円の価値は上がる(＝円高)し、日本円より別のお金に換えたい人が増えれば円安となる。今回の問題は円安になるもの、つまり、円の需要が低下するものを選べばよい。

まず、わかりやすいものから解説していくと、③の政府による外国通貨の売却という条件。これは日本円に置き換えれば、政府がもつ外国通貨を売る＝自国通貨を手にするということ。**円の需要が高まることを意味し、円高へ動く**。

②の経常収支の黒字はよく出るので注意。貿易収支の黒字も同様の意味を持つ。経常収支が黒字になるということは、海外とのやり取りで、出ていくお金より入ってくるお金が多いということ。つまり、ドルで支払う金額よりも、円が入ってくるお金の方が多いという関係が生まれる。円が入ってくるお金が多くなるということは、円の需要が高い＝円高へ動くと判断する。

①金利とは、お金を預けた際に返ってくる貸借料のこと。つまりこれが高いほど、返ってくる資金が増える。すなわち、金利を高くすると「その通貨でお金を預けたい」「その通貨でお金を投資したい」という人が増えると考えられる。日本円の需要が高まることに繋がり、円の価値は上がる(＝円高)と判断する。

④は需要のバランスとは少し違って、根本的な理解で判断する問題になる。物価が上がるインフレが進むとどうなるか想像してみよう。「あんばん 1000 円!」「ジュース 2500 円!」という社会になったら…。今まで買えたものが同じお金で買えなくなる。つまり、自分が持っている円の価値は、相対的に下がってしまうことになり、**円安**となる。これが正解。

■ ②円高円安の「影響」を問う問題

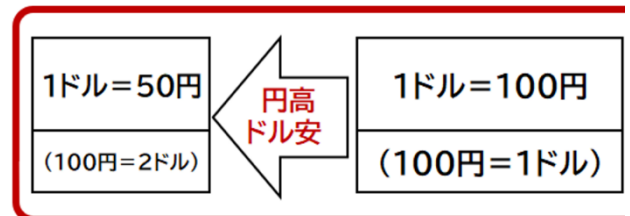
「円高の進行」→「Aについてどうなるか」という流れで、円高の影響であるAの事柄を選択肢で選ぶタイプが2つめの出題パターン。2007年本試のセンター試験より、実際の出題例を紹介する。

問2 円高の進行によって、日本企業の海外への事業展開は拡大した。その理由として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 海外へ投資する際にかかるコストが低下した。
- ② 海外からの輸入が減少した。
- ③ 海外へ輸出する際にかかるコストが低下した。
- ④ 海外からの投資が増加した。

このような影響を問う場合は、実際に円高になった場合を想定して、選択肢が合致するかどうかを考える。先ほど紹介した攻略図を活用しながら、**具体例をイメージすること!**

今回の問題は、「円高の進行によって」という条件なので、円高方向の場合を想定する。



★**選択肢①海外へ投資する際にコストが低下した**

★**選択肢④海外からの投資が増加した**

このパターンは、**とにかく具体例を考える!**例えば、日本から米国に対し、100ドルの株を購入するとする。右側のレートだと、株は1万円で投資できるが、円高が進んだ左側のレートでは、5000円で投資可能となる。このように、円高が進むと海外への投資コストが下がるという文章は正しく、正解は①となる。逆に考えれば、海外からの投資にはコストが上がることになるため、海外からの投資は減少すると考えられ、**選択肢④は誤りとなる。**

★**選択肢②海外からの輸入が減少した**

例えば、アメリカから日本へ1ドルのリンゴを輸入するとする。右側では100円で入ってくることにに対し、円高が進んだ左側のレートでは、50円で行ってくる。このように、**円高が進むと輸入は安くすることができ、輸入量はむしろ増加すると考える。**

★**選択肢③海外へ輸出する際にコストが低下した**

②とは逆に、日本からアメリカに対し、1万円の機械を輸出するとする。右側のレートだと100ドルの機械として輸出できるが、円高が進んだ左側のレートでは200ドルになる。つまり、**円高が進むと海外への輸出コストは上がることになり、この文は誤りと判断できる。**

★**その他の例題 海外からの旅行者は増加する?**

1ドルを握りしめた旅行者をイメージしよう。右側のレートでは、日本に旅行に来ると100円分の買い物ができる。しかし、円高が進んだ左側のレートでは、50円分の買い物しかできない。つまり、**円高が進むと、日本への旅行者にとっては不利な状況になってしまうため、海外からの旅行者は減少すると考えられる。**

(iii) 円高・円安の実戦問題

全統模試の過去問より

円の外国為替相場の変動要因やその変動がもたらす影響に関わる記述として、適当なものを選べ。

- ①アメリカに比べて日本の金利が相対的に高くなった場合、他の条件が変わらなければ、円を売ってドルを買う動きが強まるため、円安・ドル高の要因となる。
- ②アメリカ向けの日本の輸出拡大は、他の条件が変わらなければ、ドルを売って円を買う動きを強めるため、円高ドル安の要因となる。
- ③円高の進行は、海外から輸入する原材料の円で表示した価格を上昇させるため、日本の物価水準を高める要因となる。
- ④円高の進行は、海外で購入する財やサービスの円で表示した価格を上昇させるため、日本人の海外旅行費用を高める要因となる。

★①②→要因を考えるパターン、③④→影響を考えるパターン

★①金利が高い方が、お金を預ける方は得をする…？

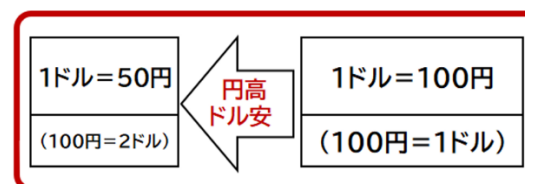
米国より日本の金利が高い → [] で投資をした方が得 → [] を [] に換える人が多くなる！
[] の需要が高まる ⇒ [] 高・[] 安になる = ①は [正 ・ 誤]

※2022 年前半に円安ドル高が急激に進行したのは、まさにこの問題文で日本とアメリカを逆にしたような現象が起きている！

★②日本の米向け輸出が拡大する = 代金がアメリカから日本へ支払われる

つまり、[] を [] に換えて支払う = [] の需要が高まる ⇒ [] 高・[] 安になる = ②は _____

③④については、どちらも「円高が進行したら…」という内容なので、円高の部分抜き出して具体例をイメージする。



★③海外から輸入する原材料の価格を上昇させる？

実際に 10 ドルの小麦を輸入するとしよう。円高になる前は 1000 円で輸入ができるのに対し、円高が進んだ左側では 500 円で輸入ができる。つまり、円の表示価格は [上がる ・ 下がる]
輸入品が [高く ・ 安く] になると、他の物価にも影響を与えて、物価水準が [上がる ・ 下がる]

※2022 年前半に円安ドル高が急激に進行した結果、逆に輸入品は高くなった。
それにつられて他の商品も値段が上がっている。

★④海外で購入する財の価格は上がる？日本人の旅行費用が高くなる？

実際にアメリカの現地で 10 ドルのお土産を買うとしよう。円高になる前は 1000 円で買えるのに対し、円高が進んだ左側では 500 円で買える。つまり、海外で購入する円の表示価格は下がる。
海外でモノが安く買えるとなると、旅行も得になる。旅行費用は低くなる。 = ④は [正 ・ 誤]

為替相場(円高円安)



(i) 為替相場と外国為替市場

■ **円高・円安とは** … 世界各国では異なる通貨が使われているが、その交換比率のことを[¹ **外国為替**]いう。
1ドルは何円と交換できるのか？というレートが、日々変動している。

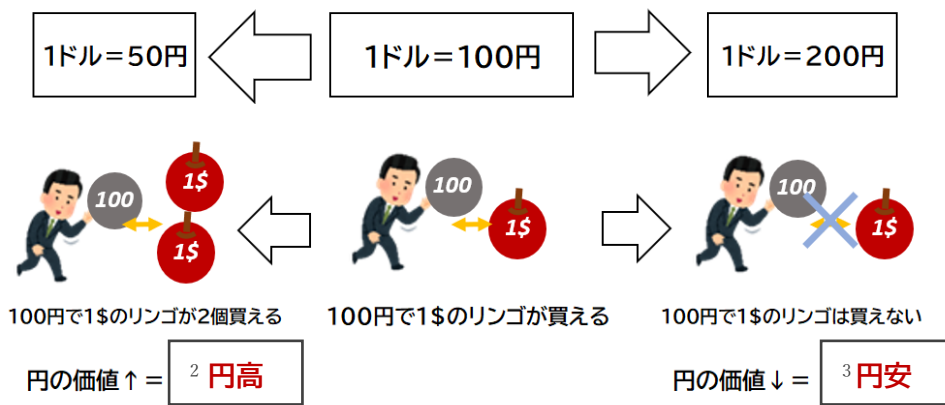
では、なぜ価値が変動するのか？ → それは**需要と供給のバランス**によるもの。

お店の商品と同じと考えるとイメージしやすい。人気が急上昇すると、その商品の価値は上がる。逆に人気が無く売れ残りが発生すると、商品の価値は下がる。

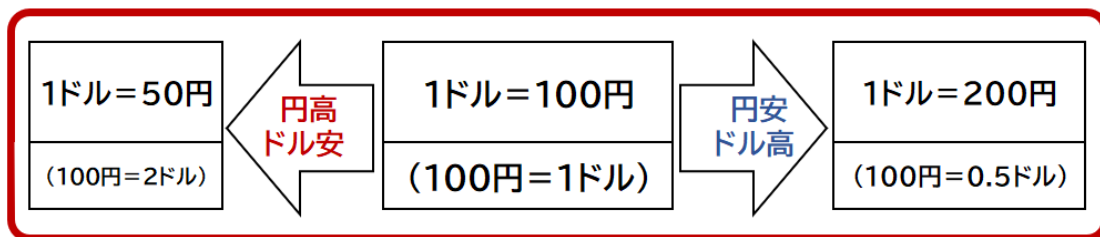
同様に、世界中で「アメリカのお金に交換したい！」という人が増えれば、ドルの価値は上がり(=ドル高)、「日本のお金を手放したい…」という人が増えれば、円の価値は下がる(=円安)

■ 円高・円安問題の基礎

では、大学入試レベルに対応できる知識を付けていく。まず下の図を見て、どちらの矢印が円高？円安？
1ドル100円を基本にして、左右どちらが円高でしょうか。イラストもヒントにして考えてみよう。



ここが基本中の基本。そして問題を解く上でこの関係がすぐ頭に浮かべば、入試レベルも問題でも解ける。



円高・円安問題の攻略図

円高円安の問題が出たときに頭が混乱してしまう人は、この図を暗記して、問題用紙の空いているところに書き込んでもいい。30秒くらい時間が取られるが、問題は非常に解きやすくなる。

(ii) 円高・円安問題の出題パターン

では、どのように出題がなされるか。出題パターンは2つに分けられる。

①円高円安の**要因**を問うもの

例)以下の選択肢より、円高になる要因として正しい選択肢を選びなさい。

②円高円安の**影響**を問うもの

例)円高になった場合、国内への旅行者は増えるか、減るか

■ ①円高円安の「要因」を問う問題

「A ということが発生した」→「円高になる」という流れで、A の事柄を選択肢で選ぶパターンがよく出る。2009年追試のセンター試験より、実際の出題例を紹介する。

問2 変動為替相場制の下で、ある国の為替レートの下落を引き起こす当該国の要因として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① 中央銀行による高金利政策
- ② 経常収支の黒字
- ③ 政府による外国通貨の売却
- ④ 物価水準の上昇

ある国の為替レートの下落という文は、ある国を日本に言い換えれば「円のレートが下がる」＝「円安」となる。この4つの選択肢から「円安」になるものを選べばよい。

では、どのように解けばいいかということについて。円高・円安どちらなのかを考える際には、円の需要が上がったかどうかという視点で考える。市場の需要供給と同じで、世界中で日本円に交換したいという人が増えれば、円の価値は上がる(＝円高)し、日本円より別のお金に換えたい人が増えれば円安となる。今回の問題は円安になるもの、つまり、円の需要が低下するものを選べばよい。

まず、わかりやすいものから解説していくと、③の政府による外国通貨の売却という条件。これは日本円に置き換えれば、政府がもつ外国通貨を売る＝自国通貨を手にするということ。**円の需要が高まることを意味し、円高へ動く**。

②の経常収支の黒字はよく出るので注意。貿易収支の黒字も同様の意味を持つ。経常収支が黒字になるということは、海外とのやり取りで、出ていくお金より入ってくるお金が多いということ。つまり、ドルで支払う金額よりも、円が入ってくるお金の方が多いという関係が生まれる。円が入ってくるお金が多くなるということは、円の需要が高い＝円高へ動くと判断する。

①金利とは、お金を預けた際に返ってくる貸借料のこと。つまりこれが高いほど、返ってくる資金が増える。すなわち、金利を高くすると「その通貨でお金を預けたい」「その通貨でお金を投資したい」という人が増えると考えられる。日本円の需要が高まることに繋がり、円の価値は上がる(＝円高)と判断する。

④は需要のバランスとは少し違って、根本的な理解で判断する問題になる。物価が上がるインフレが進むとどうなるか想像してみよう。「あんぱん 1000円!」「ジュース 2500円!」という社会になったら…。今まで買えたものが同じお金で買えなくなる。つまり、自分が持っている円の価値は、相対的に下がってしまうことになり、**円安**となる。これが正解。

■ ②円高円安の「影響」を問う問題

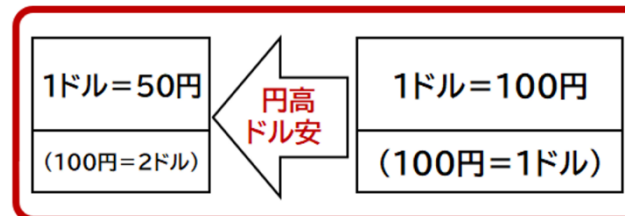
「円高の進行」→「Aについてどうなるか」という流れで、円高の影響であるAの事柄を選択肢で選ぶタイプが2つめの出題パターン。2007年本試のセンター試験より、実際の出題例を紹介する。

問2 円高の進行によって、日本企業の海外への事業展開は拡大した。その理由として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 海外へ投資する際にかかるコストが低下した。
- ② 海外からの輸入が減少した。
- ③ 海外へ輸出する際にかかるコストが低下した。
- ④ 海外からの投資が増加した。

このような影響を問う場合は、実際に円高になった場合を想定して、選択肢が合致するかどうかを考える。先ほど紹介した攻略図を活用しながら、具体例をイメージすること！

今回の問題は、「円高の進行によって」という条件なので、円高方向の場合を想定する。



★**選択肢①海外へ投資する際にコストが低下した**

★**選択肢④海外からの投資が増加した**

このパターンは、**とにかく具体例を考える**！例えば、日本から米国に対し、100ドルの株を購入するとする。右側のレートだと、株は1万円で投資できるが、円高が進んだ左側のレートでは、5000円で投資可能となる。このように、円高が進むと海外への投資コストが下がるという文章は正しく、正解は①となる。逆に考えれば、海外からの投資にはコストが上がることになるため、海外からの投資は減少すると考えられ、**選択肢④は誤り**となる。

★**選択肢②海外からの輸入が減少した**

例えば、アメリカから日本へ1ドルのリンゴを輸入するとする。右側では100円で入ってくることにに対し、円高が進んだ左側のレートでは、50円で入ってくる。このように、**円高が進むと輸入は安くすることができ、輸入量はむしろ増加する**と考える。

★**選択肢③海外へ輸出する際にコストが低下した**

②とは逆に、日本からアメリカに対し、1万円の機械を輸出するとする。右側のレートだと100ドルの機械として輸出できるが、円高が進んだ左側のレートでは200ドルになる。つまり、**円高が進むと海外への輸出コストは上がることになり、この文は誤りと判断できる**。

★**その他の例題 海外からの旅行者は増加する？**

1ドルを握りしめた旅行者をイメージしよう。右側のレートでは、日本に旅行に来ると100円分の買い物ができる。しかし、円高が進んだ左側のレートでは、50円分の買い物しかできない。つまり、**円高が進むと、日本への旅行者にとっては不利な状況**になってしまうため、**海外からの旅行者は減少する**と考えられる。

(iii) 円高・円安の実戦問題

全統模試の過去問より

円の外国為替相場の変動要因やその変動がもたらす影響に関わる記述として、適当なものを選べ。

- ① アメリカに比べて日本の金利が相対的に高くなった場合、他の条件が変わらなければ、円を売ってドルを買う動きが強まるため、円安・ドル高の要因となる。
- ② アメリカ向けの日本の輸出拡大は、他の条件が変わらなければ、ドルを売って円を買う動きを強めるため、円高ドル安の要因となる。
- ③ 円高の進行は、海外から輸入する原材料の円で表示した価格を上昇させるため、日本の物価水準を高める要因となる。
- ④ 円高の進行は、海外で購入する財やサービスの円で表示した価格を上昇させるため、日本人の海外旅行費用を高める要因となる。

★①②→要因を考えるパターン、③④→影響を考えるパターン

★①金利が高い方が、お金を預ける方は得をする…？

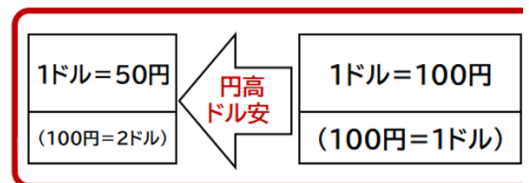
米国より日本の金利が高い → [日本]で投資をした方が得 → [ドル]を[円]に換える人が多くなる！
[円]の需要が高まる ⇒ [円]高・[ドル]安になる = ①は[正・誤]

※2022 年前半に円安ドル高が急激に進行したのは、まさにこの問題文で日本とアメリカを逆にしたような現象が起きている！

★②日本の米向け輸出が拡大する = 代金がアメリカから日本へ支払われる

つまり、[ドル]を[円]に換えて支払う = [円]の需要が高まる ⇒ [円]高・[ドル]安になる = ②は 正

③④については、どちらも「円高が進行したら…」という内容なので、円高の部分抜き出して具体例をイメージする。



★③海外から輸入する原材料の価格を上昇させる？

実際に 10 ドルの小麦を輸入するとしよう。円高になる前は 1000 円で輸入ができるのに対し、円高が進んだ左側では 500 円で輸入ができる。つまり、円の表示価格は[上がる・下がる] 輸入品が[高く・安く]なると、他の物価にも影響を与えて、物価水準が[上がる・下がる]

※2022 年前半に円安ドル高が急激に進行した結果、逆に輸入品は高くなった。それにつられて他の商品も値段が上がっている。

★④海外で購入する財の価格は上がる？日本人の旅行費用が高くなる？

実際にアメリカの現地で 10 ドルのお土産を買うとしよう。円高になる前は 1000 円で買えるのに対し、円高が進んだ左側では 500 円で買える。つまり、海外で購入する円の表示価格は下がる。海外でモノが安く買えるとなると、旅行も得になる。旅行費用は低くなる。 =④は[正・誤]